盛岡第四高等学校　学校報

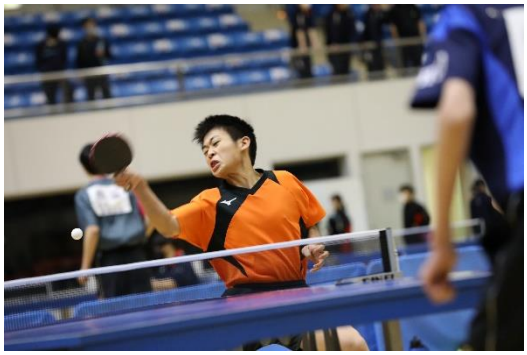
シルバーリーフの風

Ｎｏ．３
令和３年６月１０日発行
岩手県立盛岡第四高等学校
担当　副校長　川﨑　広幸
ホームページにも掲載しています

2年ぶり高校総合体育大会開催　*テニス女子優勝旗獲得*

第 73 回岩手県高等学校総合体育大会（前期５月 20 日～24 日、中心会期 27 日～31 日）が、県内各地を会場に開催されました。昨年は中止となったこの大会。まずは、どのクラブも出場を果たせたことが、大きな喜びでした。その中で、テニス部女子が団体優勝するなど、大きな成果を上げました。尚、東北大会はインターハイ予選となる種目のみの実施となります。また、水泳競技は、６月 18 日～20 日の開催予定です。各部の代表生徒から、大会を終えての想いを記してもらいました。

卓球部男子（団体ベスト８）　長澤寿哉さん



「努力は必ず報われる」という言葉をみなさんは信じていますか。「高校の部活」の中では、報われない努力も山ほどあるのは事実だと思います。ただ、「努力した」という経験は、引退した後にやってくる様々な困難に立ち向かうための原動力になり、そのステージでの結果に結びつくと、僕は信じています。「努力できる環境を作ってくれている仲間や先生方、家族の存在に気付き、感謝した上でひたむきにがんばる」、そんな集団であってほしいと思います。

卓球部女子（団体ベスト 16）　外下和奈さん

粘り強さや戦略、今まで練習してきた技術を発揮し、３回戦まで進むことができました。３回戦の相手は圧倒的に強いチームでした。しかしそんな相手に通じるものがあると嬉しく、たくさん考えながら楽しんで試合ができました。私は試合の中で、もっと動けたらとか、ドライブを打つときの長さの調節について反省しましたが、全力を出し切れないところまでが実力なので、後悔せずに笑顔で終わることができました。後輩との日々の部活は、笑い合った思い出しかないくらい楽しい毎日でした。新人戦でベスト８以上を目指して頑張ってほしいです。

ハンドボール男子（ベスト 16）浅沼望さん

昨年の先輩方の引退試合で強く頼もしくあった先輩の背中を見て、先輩としてのあるべき姿を再確認しました。私たちの姿も後輩の目標として映っていれば幸いです。最後に戦った相手はこれまで何度も練習試合をしてきた相手だったので、研究と対策を重ねました。昼休み集まって対策を練るなど、今までで一番ハンドボールにひた向きになれました。顧問、コーチ、後輩、保護者

の方々の支えで、四高ハンドボール部での生活はとても充実したものになりました。

ハンドボール女子（ベスト８）佐藤愛実さん

私たちの最後の試合。大会数週間前にチームの一人が怪我。相手はベスト４常連の人数も体格も倍ある二高。コートに立つ７人のうち５人が１，２年生。かなり厳しい状況でした。不安が募りました。でも「少しでも先輩とハンドができるよう頑張ります」という後輩の言葉に本当に救われました。実際、試合では先取点を決め、今までになかったリードの場面もありました。惜しくも１点差で負けてしまいましたが、今までで最高の試合でした。後輩たちは、３年生のために自分を犠牲にしてくれたり、一緒にハンドを楽しみ、悔しいときは泣いてくれたりしました。私たちが叶えられなかったベスト４の夢を必ず叶えてくれると思います。

サッカー部（２回戦）野崎竜世さん

今年度は高総体が開催され、これまで積み上げてきた力をぶつけることができました。目標であったベスト８には届きませんでしたが、メンバー一人一人がベストを尽くすことができたと思います。１，２年の皆さんは、人数が半分ほどになってしまいましたが、リーグ戦や高総体、選手権を最後まで戦い抜いてください。

柔道部（１回戦）須藤翼さん

先輩が引退してから部員は私一人だけでした。最初は、一人でどう練習していけばいいのか不安で、何度か部活をやめたいと思うときもありました。こうして三年間柔道を続けられたのは、他校との練習の機会をつくってくれた顧問の先生、一緒に練習してくれた仲間のおかげです。最後の高総体は良い結果に終わることができませんでした。しかし、この三年間で技術面はもちろん、精神面でも強くなることができました。

ソフトボール部（１回戦）浅沼咲子さん

勝つことはできませんでしたが、今までで一番楽しくプレーできた試合でした。大会直前に怪我をした私を、最後までグラウンドに立たせてくれたチームのみんなには感謝しかありません。ソフトボールを通じて、仲間の大切さやチームプレーの楽しさを学ぶことができました。この経験をこれからの生活に生かしていけたらと思います。後輩たちには、これからも仲間を大切にし、今よりも強いチームになってもらいたいです。

次号も高総体特集をお送りします。乞うご期待。